



ROBESON

Green Mapmaking in Rural North Carolina USA



グリーンマップ・システムは、世界各地で制作される自然・文化環境のマップを通して、地域の持続可能性や市民活動を応援する非営利団体です。



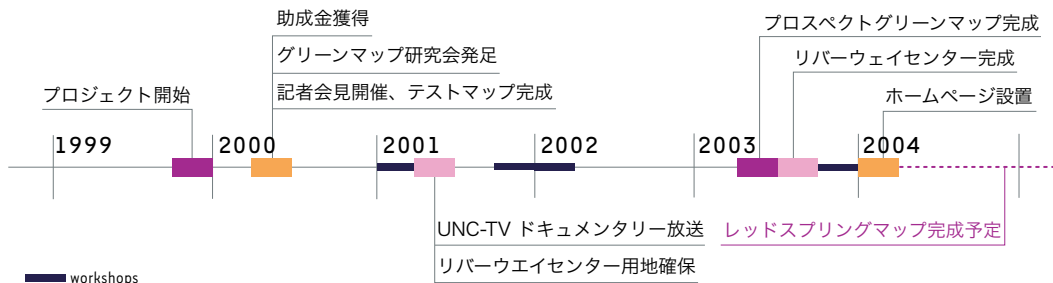
はじめに

Robeson County · North Carolina · USA
Robeson County Green Maps
www.ccarobesoncounty.org

ロブソン郡



プロスペクト・グリーンマップ詳細(2003年)



ロブソン郡は、アメリカ国内でもっとも多くの方が暮らす農村地帯であるが、グリーンマップ・プロジェクトを通して、青少年も大人もこの生物資源や文化資源について知識を広げ、評価を高めている。

ノースカロライナ州ロブソン郡の70を越える地域のネイティブアメリカン、アフリカ系、ヨーロッパ系の学生や大人、シルバーの人たちが調査を行い、自分たちの住む地域にある生態系や歴史的・文化的なもの、市民むけ施設、レクリエーション施設を地図に落としとしていった。すでにイトスギ湿原50カ所、8000カ所にもぼるカロライナ湾の入江、その他ランバー川の流域の名所を図にした。グリーンマップづくりは、Center for Community Action(CCA)の主たる教育活動であり、これにはRural School and Community Trustの支援を受け、ロブソン郡公立学校連合の後援を受けている。

このプロジェクトを通して、年配者との対話、コミュニティ散歩、自然ハイキング、カヤック漕ぎ、自然観察など、人と人、人と自然のふれあいが起こっている。昔から伝統を守っている人たちの知識や慣習が若い人

たちに伝えられ、その智慧や実践を記録に残し、活用していくことにも役立っている。私たちは、農村地域と学校を結ぶプロジェクト、市民参加から教育課程改革へ、自然と文化に触れるキャンプからエコ・ツーリズム及び文化ツーリズムまでの教育努力の土台づくりとなるようなプロジェクトを探していた。グリーンマップづくりを通して、自分たちが探しているものを見つけ、しかもそれをさらに広げることができた。

地図データ

- ・ 使用言語: 英語
- ・ 版数: 2
- ・ 地図形: 印刷物
- ・ 収録サイト数: 89
- ・ グローバルアイコン使用数: 23



ロブソンの5つのローカルアイコンのうちの3個

マップ制作

Robeson County · North Carolina · USA

Robeson County Green Maps

www.ccarobesoncounty.org



1000 color copies of Prospect Map,
4000 draft copies of both Prospect and Red Springs

ロブソン郡グリーンマップは、学生主導のプロジェクトである。70ある地区がそれぞれのグリーンマップを作成し、それを合わせて6つの高校の学区マップにし、最終的には全郡のマップにまとめていく。マップにはそれぞれの地域で使った教材や郡グリーンマップ・アトラス、各コミュニティの絵ハガキが付録としてついてくる。それに、リバー・ウエイ野外冒険教育センターでの学んだ内容や、観光資源についての情報も入っている。

カラーマップの第1号では、プロスペクトという町に着目した。青少年がベースマップの下絵を4×8フィート大の掲示板に描き、町の中を調査し、サイトを記入していった。出版したマップはGISにもとづくもので、学生が見つけたサイトも全部入っている。学生が各サイトについてナレーションを考え、それをCCAの職員が編集した。

私たちのマップ作りは、カナダのイエローナイフ、デンマークのコペンハーゲン、カリフォルニアのサンタモニカ・バローナ、ニューヨークのローマップをはじめとする多くのGMSプロジェクトに刺激を受けた。また、「アラスカの伝統的知的遺産ネットワーク」が実



(左から)
レッドスプリング・グリーンマップ(2004年)
プロスペクト・グリーンマップ(2003年)
左側-ロブソングリーンマップ共同代表パトリシア・ロック
シアはこの固有種のアキノキリン草の医薬的特性を報告している。



施した文化的アトラスにも大いに触発された。

作業をしながら、グリーンマップとは最終成果そのものでなく、地域の人たちの智恵や土地に対する誇りを高める過程であり、それがいろいろな前向きな結果をもたらすことにこそ意義があることに気づいた。地域の人たちをまとめ、指導力を高める事業としてもっとも効果的なものとみることができる。目的、内容、用途が多面的であればあるほど、地域住民の関心は高く、幅広い。

マップは無料で郵送、ないしはCCAの会員、教室、教会、政府機関その他地域集団を通して配布されている。

テクニカルデータ

ソフトウェア:
ESRI ArcView
CorelDRAW 9

ハードウェア:
Digital camera
Video camera
Kayaks
Digital projectors
Overhead projector

紙質:
Recycled paper

地図形態とサイズ:
Folding
· Both maps 35.6 X 21.6 cm / 14 X 8.5 in

チームワーク

Robeson County · North Carolina · USA
Robeson County Green Maps
www.ccarobesoncounty.org

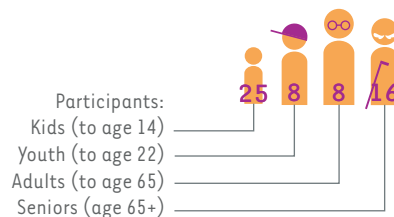
CCAは、生徒、教師、親、高齢者など、世代を超えたマップづくりチームを編成した。グリーンマップづくりは、CCA会員と草の根リーダー開発研究所の大人の活動の目玉となった。加えて、夏季大学生インターンたちがプロジェクトを手伝ってくれた。どのマップに関しても、主要サイトの調査や説明には学生が中心的な役割を果たしている。セントポールの町でも、中学生がグリーンマップ・プロジェクトを始めている。

マップは、各地域の生物多様性と文化的多様性が盛り込まれるようにデザインされている。また、マップ作りに関わった人たちは、グリーンマップが次のようなことに役立つことをすぐに理解した。すなわちマップは地域に対する誇りを高め、背景の異なる様々な住民を、この地域の素晴らしい環境資源や文化資源に結びつける事ができるという事である。学校の先生たちは、生徒が自分の住んでいる町を故郷と呼ぶのにふさわしいところだと感じられるような、地元中心のカリキュラム改革ができるのではないかと考えた。

われわれのマップには現在あるものだけでなく、かつてそこにあったものも記入し、マップを水平と垂直の両方から見たものになっている。年配の人たちとのイ



Partners, Advisors and Board members: 5



ンタビューを通して、読者は土地の歴史や伝統的な暮らしについて知り、過去と現在を想像力をもって結びつけることができる。

私たちは教育者の全国会議に出席し、世界中の教育者や環境活動家とeメールをかわし、『Mother Earth.News』(2002年6月)や『Rural.Roots』(2001年4月)などの重要記事に目を通して、幅広く情報収集や意見交換をした。またサンフランシスコやアトランタをはじめとする地域でのマップづくりに影響を与えた。世界中のマップメーカーたちやプロジェクトからも多くを学んだ。

ロブソン郡グリーンマップ >>
 研究会の先生達(2002年6月)。



<< 談笑するロブソン郡の著名な作家であり歴史家のWilliam McKee Evans博士(右)、CCAの理事、Reverend Arnold Walker(中央)、Reverend Jimmy Jones(左)。



Sandersonイチゴ狩り農園の経営者Leslie Sanderson氏。プロスベクト・グリーンマップの13番参照。



<< 校庭で動植物の調査をするフェアグローブ・グリーンマップの学生達。

マップ制作者は月1回コミュ >>
 ニティマップ制作のために会合を開く。



制作費

Robeson County · North Carolina · USA

Robeson County Green Maps

www.ccarobesoncounty.org

郡をあげてのマップの資金づくりのため、地域教育、青少年協議会、指導性開発、観光関連事業その他の具体的なプロジェクトや活動と結びつけることで、資金提供者の理解をとりつけ、資金援助をもらった。その際、私たちはグリーンマップづくりとは単独の事業ではなく、他の事業を活性化し情報を提供することになる核になるプロジェクトであると説明している。

グリーンマップ・プロジェクトは、当初は資金を要するが、長期的には利益を出せる数多くの成果を生んだ。その最たるものがリバーウエイ野外冒険・教育センターである。この施設は、地元紙でグリーンマップ・プロジェクトの記事を見たある家族が土地を売却してわれわれに贈与してくれた所に建設され、ランバー川の環境と文化的財産を身をもって体験するための場を青少年、教育者、親たちに提供している。

将来にむけて、私達は、グリーンマップ・フェスティバルや10代後期の若い人たちに自分たちより若い生徒が実施するグリーンマップ活動を運営してもらうための経費などの資金作りの目標を設定している



(上から)ランバー川に沿って下るツアーを準備中。
ノースカロライナのインディアン文化センター近くでカヤックから魚釣りをする皆さん。



ロブソン・グリーンマップに記されたグリーンマップアイコン。

これらのアイコンは全グリーンマップに共通に使われている



エコノミックデータ

制作主体: Non-profit organization and grassroots group

資金源:

Grants, private funding, in-kind services

主な支援団体:

Center for Community Action
Rural School and Community Trust
The R.M. Skipper Family
Evelyn Zuber Trust
Lumberton Kiwanis Club

専任スタッフ: 2

頒価: Free

派生プロジェクト: Outdoor Adventure and Education Center, curriculum workshops, tourism resources

評価

Robeson County · North Carolina · USA
Robeson County Green Maps
www.ccarobesoncounty.org

ロブソン郡グリーンマップ・プロジェクトの進捗についてはCCAの職員と役員、コンサルタント、年配者、大人のガイド、青少年のマップメーカー、地域住民で構成される団体が定期的に評価している。

ロブソン郡のサイト選択基準は他のGMS参加プロジェクトに比べて多少範囲が広く、従来の生態系や文化的資源の他に、歴史、リクレーション、市民の為の場所、それに「過去」のサイトまで載せている。地元住民や報道関係者(ランバートやファイヤットビル新聞)、教育者は非常に強い関心を寄せている。というのは、彼らは、高校を卒業するとこの地を離れることの多い若い人が、ここの文化的資産や生態系資産について関心をもちなくなっていることを懸念しているからである。

私達のグリーンマップ・プロジェクトは、GMSからワークショップやアドバイスなどの様々の支援を頂き、そのお陰で、新しい人たちをマップ制作の過程に引き寄せることができた。さらに、他のグリーンマップ・プロジェクトの関係者と連絡を取り合う中で多くを学び、農村環境の中でのグリーンマップづくりの可能性を明らかにすることができた。

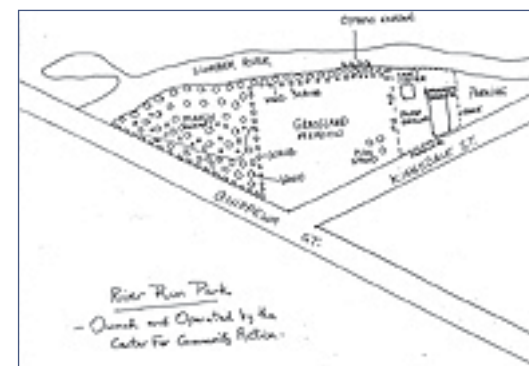


ロブソン・グリーンマップは多くのメディアから注目を集めた。(左から)『Rural Roots』紙(2001年4月)。『Fayetteville Observer』紙(2000年6月24日)。『Robesonian』紙(2000年6月18日)。

施設建設につながった土地の提供や持続可能な観光資源についての熱心な討議、計画づくりなどに、皆さんが余り熱心だったため、私達はマップづくりの作業からは多少はずれてしまった。さらに、作業スケジュールをもっと厳格に作っていたら、プロジェクトをもっとよいものにできたと思われる。政府から学校まで、組織的な支援者が大勢いるので、将来、グリーンマップが「生み出したもの」にもっと多くの時間を費やすことができるだろう。例えば、マップづくりを通して、教育や観光関連の機会を広げたいと思っている他の地方のコミュニティにも有効なウェブを作ることなどである。



(左・上・右下)ロブソン郡グリーンマップのカリキュラムの一つ、大イトスキの表面をこすって作った絵。月例ミーティングでは下絵にサイトを付け加えたり、話し合ったりする。



川の流域のスケッチマップ、ここで若い人たちは地域の環境について学ぶ。



むすび

Robeson County · North Carolina · USA
Robeson County Green Maps
www.ccarobesoncounty.org

このプロジェクトの独自性は、広大で、民族背景が多様な農村地帯の郡、というこの地方の環境そのものにある。それに、サイト選択の基準が、生態系、歴史、文化、市民生活、レクリエーション資源と、広いこと、またマップの成果よりもグリーンマップづくりの作業そのものが地域住民に与える影響に力を入れている点も特徴といえる。

参加した青少年も大人も、グリーンマップが大好きである。プロジェクトの影響についてのインタビューに、次のような答えが返ってきた。

“人間の不思議さや良いところや重要性については当然のことと思ってた。でも居住環境の中で意味のあるものは自分のものだけだと考えていたなんて間違っていたことに気付いた。”

–ライアン・ハント、フェアグローブ中学校生徒、フェアグローブ・グリーンマップ・チームメンバー

“私が住んでいる場所の歴史と文化が、いきいきと現れてきた。このプロジェクトは、ネイティブ・アメリカンの文化について興味がわき、もっと深く掘り下げて

“自分を取り巻く環境について身近に感じるようになり、郡の中で自生している植物やハーブの名前が言えるようになった。こういうことを若い人たちに伝えていけると思う。自分が育って、住んでいる場所をますます自慢できるわ。”

–ウイラ・ロビンソン、高齢者、マックストン地域グリーンマップ・チームメンバー

いく機会となった。自分たちがこういう歴史や文化の一部なのだと感じられた。”

–バトリシア・ロックリア、CCAスタッフならびにグリーンマップ・プロジェクト共同ディレクター

郡の中のコミュニティ全部についてマップづくりを続けているメンバーは毎月集まり、グリーンマップのおかげで発見した多くのことについて情報交換している。



ノースカロライナの最初のLubeeインディアンの裁判官 Early Bullardの家。プロスペクト・グリーンマップサイト番号27。



★ ランバー川アウトドア冒険センター近くの川と教育センター。



★ ロッキー山脈東側の北部アメリカで最も大きい木、イトスギはロブソン郡の50の湿地や川のくぼみにある環境的にも特徴的な木。



赤い泉を意味する古い湧水はサイト番号10。



(左から) 南ランバートグリーンマップチームシニアアドバイザー、Reverend Jimmy Jones(右端)、「地域アクション、コミュニティ祭りセンター」にて。古代の湖の特異な地形を残すカロライナ湾群はマップ上では楕円形をしている。

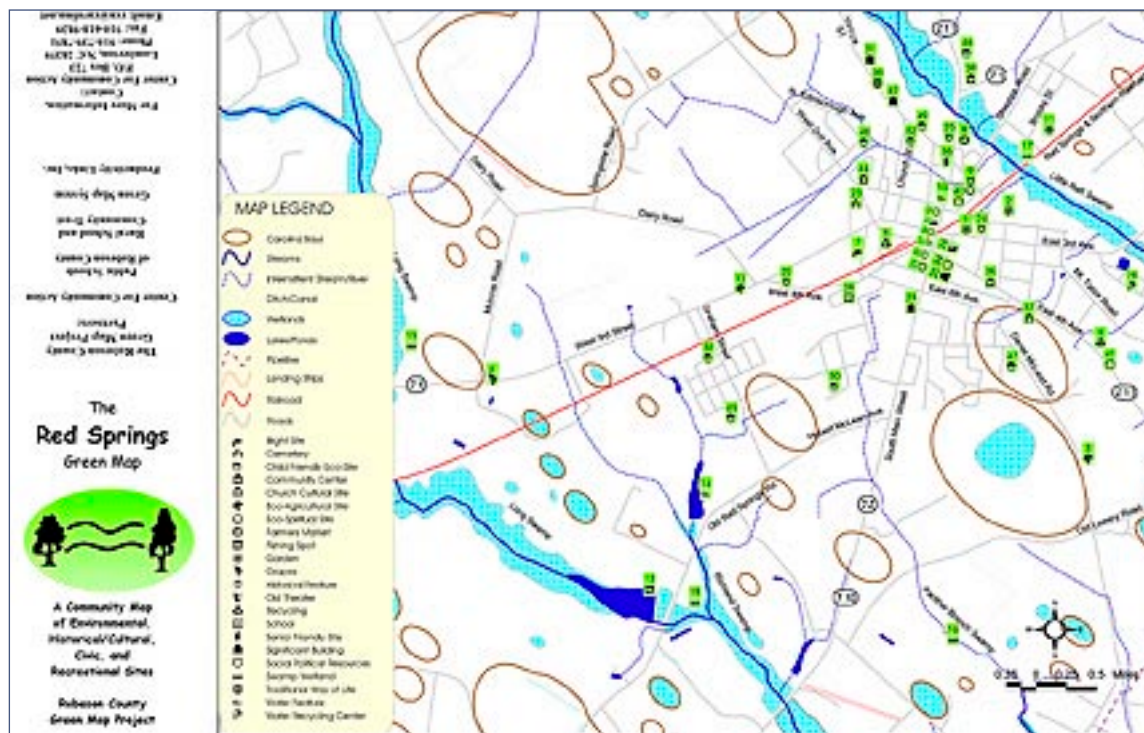
クレジット

ロブソンストーリー監修:
 Mac Legerton and Patricia Locklear
 Center for Community Action
 P.O. Box 723
 Lumberton, NC 28359
 USA
 tel: +1 (910) 739-7851

版權:
 All map, web, promo, images and photos © Center For Community Action. Special thanks to Productivity Links, Inc. Carolina Bays photograph courtesy of Thomas E. Ross, University of North Carolina at Pembroke



<< 新しいポーチを建設中の River Wayチームの休憩風景。



レッドスプリング・グリーンマップ(2004年)

マップの申し込みは?

email: phlocklear@aol.com
 or visit the online store at
www.greenatlas.org

www.greenmap.org, グリーンマップ・システムのホームページ: 世界中の全てのグリーンマップ・プロジェクト、グリーンマップ・アイコンポスター、ユースマップ制作ツールなどがいくつかの言語でご覧になれ、リンクしており、持続可能なこの活動への参加のお誘いも掲載しております。



© Green Map® System, Inc. 2004
 PO Box 249, New York, NY 10002 USA
info@greenmap.org